

ちくさんスナップショット

平成 26 年 1 月 第 32 号 株式会社富士飼料

【TMR とディリーサポートへのこだわり】

弊社が TMR 製造を開始させていただいて、お陰様で 5 周年を迎えることが出来ました。心より感謝申し上げます。本当に、お客様皆様に助けていただいております。

TMR は毎日、同じ品質を保ちお届けできるよう努力しています。お客様の「乳量を増やしたい」「繁殖成績を向上させたい」「作業効率をよくしたい」といったご要望にお応えするためです。そのご要望の中から出てきたのが DS（ディリーサポーター）です。「少しだけ手伝ってほしい」「奥様の代わりに、夕方だけ搾乳してほしい」など、数時間の作業を手伝えないかというものでした。まだまだ、不十分ではありますが DS を充実させたく、来春、増員を計画しております。

富士飼料は、厳しさが続く畜産業界で畜種を問わず、お客様の声を聴きながら、お役に立てるよう心掛けて参ります。

【担当：津田宗彦】

【地元 白石スキー場へ行こう！】

弊社「白石蔵王 TMR センター」のお隣さん、「白石スキー場」様はシーズン真っ盛りで大賑わいです。今年は雪の量・質とも良好で、グッドコンディションとのこと。

初心者から上級者まで楽しめるゲレンデがあるので、家族連れや友人同士で大いに楽しめます。特に子供向けのイベントや教室が充実しており、料金もとても良心的です(^_^)/ 地元密着サービスの白石スキー場で腕を磨いて、厳しい冬を大いに楽しみませんか！

【二瓶】

【配合飼料】 1-3 月期価格改定について

今期 1-3 月の配合飼料価格は、前期に比べ屯当たり 200 円～500 円中心の値下げとなりました。11 月頃の予想では四桁台の値下げが可能と見込まれていましたが、蓋を開けてみれば小幅値下げの結果となりました。

今回の改定は、前期に続き四半期二回連続の値下げですが、配合飼料の主原料とうもろこし相場が大きく下がってきたのが連続値下げの主な要因です。

但し、その値下げを抑えたのが、副原料で主要な位置を占める大豆粕であり、今年 10 月以降の大豆粕相場は、シカゴ相場高と為替円安で上昇してきました。それに加え為替相場のドル高円安の展開で、とうもろこし価格下げを縮小させる状況になりました。これらの影響に 9 月より、1-3 月期渡しの配合飼料価格の小幅値下げとなりました。

去年を振り返ると、為替変動に泣かされた一年でした。夏場には 1ドル 100 円台に乗せる円安進行で、とうもろこし価格は四万円を超える高値を付けました。その後シカゴ定期の下落で円安にもかかわらず三万円を割り込み、年末には再び三万円台を回復する慌ただしい動きでした。

今後も円安基調となりそうですが、メーカー筋にはもっと上手に原料調達してもらい、生産者の安定経営に寄与してもらいたいものです。

【宮城福島山形担当：二瓶洋一】



積雪 130 センチ！バーンは軟らかめで滑り易い状況です！（1月7日現在）

（裏面へ続く）

【粗飼料】アルファルファ（ルーサン）動向

2009-10年からUAE（アラブ首長国連邦）と中国向けの米国産アルファルファが驚異的に数量を伸ばして輸出され始めました。13年産の米国産アルファルファについても、両国の船積みは増え続けています。一昨年11年は、かろうじて日本が米国産アルファルファの輸出数量トップをキープしましたが、昨年12年はUAEに抜かれ、今年13年はついに中国に抜かれて、現在は第3位となっています。

また、これまではプレグレード品中心の日本向けに対して、UAEや中国向けは中間グレード品からローグレード品が中心の引合いだったため、上手く棲み分けがされてきましたが、急速な経済の発展と資金力を背景に、いずれはUAEや中国向けもプレグレード品も求めるようになり、日本向けと競合することも産地では予想され、今後も動向にはさらに注意が必要です。

このような状況のなか、弊社といたしましては複数の仕入れ業者から選定し、より良いものの確保を心掛けて参ります。

【宮城県南養牛担当：佐藤研治】

【コラム】酪農家キーニィの牛飼いの哲学

先日、ある事がきっかけで『酪農家キーニィの牛飼いの哲学』を知りました。とても有名で知っている方も多いと思いますがここで一節を紹介させていただきます。

私たちはあなたの乳牛です
私たちはあなたのくださるものを食べ
くださるものを飲み住ませてくださる所に住みます
良い牛にもなれば悪い牛にもなります
丈夫にもなれば弱くもなります
快適に暮らすこともできれば不愉快にもなります
このように
私たちの運命は酪農家まかせなのです

初めてこの詩を読んだ時、とても感慨深い気持ちになりました。これは乳牛だけではなく、どんな生き物を飼うにしても当てはまる事だと思います。

今私はお客様に飼料を購入していただく仕事に従事しています。まさに動物たちの運命を左右する側の一人でもあります。これを強く自覚して仕事に携わっていく事の必要性を再認識させられた詩です。毎朝この詩を読んでから仕事開始が日課になりました。

【宮城県北担当：斎藤勉】

【肉牛】宮城県子牛動向と茂洋の後継牛

宮城県の基幹雌雄牛、茂洋。活躍も約4年目になりました。昨年の12月子牛市場価格では全ての血統に於いて高値を付けており、

近年では最高平均価格平均60万（去勢）を記録しております。茂洋の価格も去勢平均約60万、雌平均約52万と高い価格を推移しておりますが、基幹雌雄牛としては古くなってきており次の雌雄牛でどの血統が当たるか気になる所です。

その基幹雌雄牛の中で、去年基幹雌雄牛になった好平茂は、茂洋の初の後継牛として市場では期待が持たれておりますが、ここ最近の高騰した市場価格が続く事により肥育農家のコスト圧迫が懸念される所です。

今月の子牛初セリは14日からとなりますが、まだまだ高値推移は続くと思われれます。

【宮城県北養牛養豚担当：松浦卓也】
